

【作文・小学生の部】

「みんなで心がけよう土砂さい害ぼう止」

東近江市立能登川南小学校 4年 ^{しらね}白根 ^{たくみ}拓実

今年も、夏休みに入る前に、九州で大雨がふり、土砂さい害で、人がなくなられたというニュースを見ました。毎年、同じようくり返しておこる土砂さい害。どうしてこんなに、土砂さい害が多いのだろうと思い、少し調べてみることにしました。

日本で土砂さい害が多いのには、3つの理由があるそうです。1つ目は、日本は山が多く、その山も、もろくてくずれやすい岩や土でできていること、2つ目は、日本では、梅雨や台風などの時に、一度にたくさんの雨がふり、その量は、世界の国々の平均の2倍半にもなること、3つ目は、日本には、流れの急な川が多く、大雨の時、一気に流れるからこう水になりやすいことだそうです。

お盆の14日、ぼく達の住んでいる東近江市でも、大雨がふって、大雨けいほうが出ました。ぼくの母が会社に行くために乗った電車は、線路に土砂が流出したために、電車が止まってしまって、いつもなら40分で行けるところが、2時間半もかかったそうです。京都から大阪の間が止まってしまったので、電車が進めなくなり、おくれて出発しても、またと中で止まるということをくり返して、駅には人があふれ、乗りたくても電車に乗れない人もたくさんいたそうです。その日のニュースで、京都の宇治市で家が流されて人がなくなったり、家の1階が水につかってしまったり、てい電したりするひ害があったことや、大津市でも、道路や家の中に、土砂が流れ出て、たいへんなひ害があった事を知りました。

土砂さい害は、ぼく達とは、あまり関係のない地いきで起こっているように思っていました。ぼくの身近にも、こんなことが起こるのだと思いました。少し他人事のように思っていたぼくは、びっくりするとともに、みんなが気をつけていないと、さい害が大きくなってしまふのだということに気がつきました。さい害が起きやすい地いきはあるけれど、いつ、自分の近くで起きるかもしれないのが土砂さい害なのだと思いました。

日本では、くずれやすい山から守るために、土石流対さく、がけくずれ対さく、地すべり対さくがされているそうです。また、雨の量や、きけんな地いきについてのじょうほうも出されているそうです。雨のふり方に注意する、ひなん場所を決めておく、きけんな場所をたしかめておく、にげ方を覚える、ひなんくん練にさん加する、これが、土砂さい害から身を守るために、ぼく達が自分でできることだとわかりました。

いろんなじょうほうをさん考にしながら、ぼく達は、そのじょうほうの使い方やはんだんを、自分でもよく考え、みんなで土砂さい害ぼう止に心がけないといけないと思います。人ごとだと思わず、自分の周りのことをよく知って気をつける。ぼくもそういう風に心がけようと思います。